

第 1 回 長 崎 大 学 運 営 諮 問 会 議 開 催



1 運営諮問会議の目的・任務など

 目 的

大学と社会との関係が密接化する中で、教育研究活動の自律的な運営や公財政の支出の必要性について社会的に十分な理解を得るためには、大学が社会からの意見を聴取し、社会的存在としてその責任を明らかにすることが求められています。

こうした観点から、長崎大学においても、学外有識者の意見を聞き、教育研究及び運営の改善充実に資することを目的として、平成12年4月、国立学校設置法の規定により、「長崎大学運営諮問会議」が設置されました。

 任 務

運営諮問会議は、長崎大学の教育研究、運営等に関する重要事項について学長の諮問に応じて審議し、学長に対して助言又は勧告を行います。

なお、運営諮問会議の審議状況等は、必要に応じ、長崎大学評議会（大学の最高審議機関）に報告されるとともに学内外に公表されます。

 委 員

各界を代表される次の10人の方々に、御就任いただきました。御就任の期間は、平成12年4月から2年間です。

金子 原二郎	〔長崎県知事〕
福地 茂雄	〔アサヒビール（株）代表取締役社長〕
横山 哲夫	〔長崎大学名誉教授〕
雨宮 忠	〔地方公務員共済組合連合会理事〕
片岡 千鶴子	〔長崎純心大学長〕
川下 満之	〔長崎県高等学校長協会会長・長崎県立長崎東高等学校長〕
草野 仁	〔テレビキャスター〕
富永 明	〔三菱重工業（株）取締役 長崎造船所長〕
野崎 元治	〔長崎商工会議所会頭・十八銀行代表取締役会長〕
ブライアン・パークガフニ	〔長崎総合科学大学地域科学研究所教授〕

（以上、敬称略）

2 第1回運営諮問会議のあらまし

長崎大学運営諮問会議の第1回会合は、平成12年4月15日(土)午後、ホテルニュー長崎において開催されました。

第1回会合のあらましは次のとおりです。

学長挨拶，会長・副会長選出

- ・ 池田高良学長が冒頭に挨拶し，運営諮問会議の目的・趣旨等の説明とともに，幅広い視点で長崎大学を見てもらい，形式的ではなく率直な意見をいただきたい旨を述べました。
- ・ 運営諮問会議の会長に福地茂雄アサヒビール(株)代表取締役社長が，副会長に横山哲夫長崎大学名誉教授がそれぞれ選出されました。

長崎大学の現状と課題

大学側から，長崎大学の21世紀の在り方についてまとめた大学改革案(平成12年2月)の概要を説明しました。

改革の目的，必要性，方向性等	-----	池田学長
学部教育，教育・研究・運営評価等	-----	橋本副学長
大学院教育研究，地域との連携等	-----	渡邊副学長

意見交換

大学改革案の概要説明を踏まえて，大学の在り方，大学の教育研究活動の改善充実及び長崎大学に期待するもの等について活発な意見交換が行われました。

各委員からは，大学改革案の実現には教官の意識改革が必要であること，各改革項目の優先順位を設定し，実行すべきであること，長崎大学卒業生が「長崎大学の歴史と伝統」に誇りを持っているとのアンケート結果があるが，大学の中身自体を誇れるようにならないといけないこと，長崎の地理的・歴史的特性を生かし，アジアをキーワードにした国際交流を推進してほしいこと等の指摘や助言がありました。

詳細は，「21世紀の長崎大学を目指して 第1回長崎大学運営諮問会議
～学外有識者からの意見～」を御覧下さい。